

ぽかぽか新聞



いつも『ぽかぽか新聞』のご愛読ありがとうございます。月日の経つのははやいもので、今年ももう7月になりました。暑い日が続きそうですね。これから秋になるまでの数ヶ月は床暖房の営業はあまり歓迎されない時期です。

しかし今年はちょっと変わる期待があります。なぜかというと、昨年弊社も実験した壁からの輻射冷暖房が床暖房の仲間内でちょっとずつ話題になり始めています。設計図に採用される物件も何件か出てきました。通常のエアコンによる冷房と比べると、省エネ面からも冷房効果においてもかないませんが、冷たい風がいやな人、

風の届かないデッドスペースの改善や日射等による不具合部分の解消には効果があります。

床暖房単独の専門家から冷温熱環境の専門家になる道が見えてきたかなっと、わくわくする素材です。

ふり~だむ



★★★★★ 南米へ行ってきました。VOL.1 ★★★★★

こんにちは。三宅です。

今回は、少し遠出をして日本のはぼ裏側にある南米のペルー、アルゼンチン、ブラジルへ遊びに行ってきました。（今回は、数回に分けて書く予定ですのでおつきあい頂ければ幸いです。）

日本からの時差は、12から14時間。広島から最初の訪問地ペルーへ到着するまで、飛行機を乗継ぐこと約1日半。往復3日です。

ペルーは、ナスカの地上絵、クスコ、マチュピチュ遺跡を。

アルゼンチンとブラジルは、イグアスの滝を。世界遺産4箇所を観光しました。

最初の観光地、ナスカの地上絵はセスナに乗っての遊覧観光です。セスナに乗る前には、乗客全員体重を測ります。その理由は、小型セスナの為、重量バランスが重要で、それを考慮して、座席が決まると言うシステムだからです。

その後、無事遊覧開始です。テレビ等で見ていたので楽しみにしていたのですが、どこに絵があるのか分からず・・・。パイロットさんが日本語で場所を教えてくれたものの最初の内は、わからず。とりあえず適当に写真を撮る事に。遊覧観光を終え写真を確認すると、地上絵はちゃんと写っていたので、一安心でした。（つづく）



【手作りたまごボーロ】

材料：卵黄 1個分 砂糖 30グラム
片栗粉 80グラム 牛乳 適量

作り方

①ボウルに卵黄、砂糖を入れ、よく混ぜ合わせる。片栗粉を加え、ゴムべらで混ぜ合わせる。

丸めやすい固さになるように、様子をみながら牛乳を加えて混ぜる。

②直径1センチのボール状に丸め、160度のオーブンで16~18分間焼く。色々な大きさのものができましたが、問題なく焼けました。

数えておりませんが50個ぐらいできました。

丸めるのが楽しいので♪静かに作ってくれ(^-^)、下の子はぐっすりお昼寝できました。

市販のボーロと同じ味で、甘くてサクサク美味しいですよ。

娘も「買ったのと一緒にだ～」と言っていました。

みなさんも懐かしい味を作つてみて下さい。



3時のおやつ❤️ 作りました



育児休暇から復帰してそろそろ1年が経ちます。

会社の人、両親の協力のもと仕事と育児の両立がんばっています。（子供は急に病気になりますから(T_T)）

下の子1歳がお昼寝中に5歳の娘とおやつを作りました。



2013・7
Vol. 46

床暖房のまめ知識

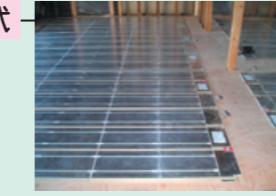
電気式



床置き式（荒床上）

フローリングなどの仕上の下に、ヒータまたは温水パイプの入ったパネルを設置して床を暖める方式（木造、コンクリート床など）

温水式



根太間落とし込み式

フローリングなどの仕上の下の、根太と根太の間に、蓄熱体の入ったパネルを設置して床を暖める方式（木造、コンクリート床などの根太組床）

電気式



埋設式

コンクリートの中にヒータまたは温水パイプを埋設してコンクリートに熱をためて、床を暖める方式（コンクリート床）

電気式



温水式



世界初の水蓄熱床暖房

フローリングなどの仕上の下の、根太と根太の間に、水の袋と温水パイプを設置して暖められた水でお部屋全体を暖める方式（木造、コンクリート床などの根太組床）



新しい床暖房



土間暖房

床下の土間コンクリートの中にヒータまたは温水パイプを埋設して、床下空気を暖めて建物の床全体を暖める方式（木造、コンクリート床など）



温水式



電気式



※その他にも、屋根の軒先や排水路に入れるシステムも施工しています。

次号から、それぞれの床暖房について詳しくお話ししますが、それより早く知りたいという方はご連絡下さい。
担当者からご説明させていただきます。



よっちゃんの巻



グレープフルーツで電池が出来るの!?

太郎と作ってみる。準備するのは銅と亜鉛の2種類の金属板と美味しそうなグレープフルーツ。これで電子ブザーが鳴るのか実験をします。グレープフルーツを半分に切り銅板と亜鉛板を差し込みリードケーブルでつなぎます。とっても簡単ですが完成のはず。電子ブザーにつなぎますと、どうなるでしょうか・・・ピ――！おお、本当に鳴りました。これで電気が出来るなんてとっても不思議ですね。



この電池、2種類の金属で電解液を挟むと電気が起きる「ボルタ電池」というもので、電解液に亜鉛が溶けだすことによって電子が余り移動することで電流が流れるのだそうです。でもこの実験で電解液の役目で使ったグレープフルーツ、亜鉛が溶け込んでいるので食べられないのだそうです。なんかエコのようでエコじゃない実験になっちゃいましたね。



床暖房のことなら私たちにおまかせ下さい!!

サン・フロアホーム株式会社

〒736-0083 広島市安芸区矢野東4丁目13-10

082-888-5137

FAX 082-888-5243

www.sanfuroa.com

info@sanfuroa.com